

災害に向き合って その3  
世界の大地震（アジア）

蜂谷 紀之

**台湾中部大地震** 1999年9月21日に台湾中部でマグニチュード7.7の大地震が発生し、約2千人が犠牲となりました。下の小型シートは同年11月1日に発行された寄付金付き切手です。倒壊したビル群や巨大な地割れ、被災者救援の様子が描かれています。中国語のスローガンは「一方に難あれば十方から援助」および「心と手を差しのべ家々の再建を」との意味です。

台湾では地震から一年後の2000年9月21日に「監視態勢」「救援」「防災教育」を描く3種の切手が発行されました。右の切手はこのうち「救援」です。この切手には赤十字マークや救難犬とともに、地震発生直後に日本から派遣された国際緊急救援隊が瓦礫の中で生存者を探している様子が大きく描かれていて話題になりました。

**トルコ北西部イズミット大地震** 台湾大地震が発生する直前1999年8月17日にはトルコでもマグニチュード7.6の地震があり、1万7千人が犠牲になりました。次ページ上左の切手は地震発生から約2か月後の10月15日に、国際救援活動への感謝を表して発





行された切手です。日本も仮設住宅建設や支援物資などの救援活動を行いました。切手の周辺に 11 か国語で感謝の言葉が記されており、切手下部の国名 TURKIYE の下あたりに、銀白色のローマ字で「ARIGATO GOZAIMASU」の日本語が書かれています。

**四川大地震** 2008年5月12日に四川省アバ・チベット自治区で発生した地震です。マグニチュード8.0で、約7万人が犠牲になりました。上右の切手です。

**イランバム地震** 2003年12月26日イラン南東部のバム市で発生したマグニチュード6.6の地震で、死者4万3200などの被害が出ました。下の小型シートには地震で倒壊した城壁遺跡、避難住民、けが人等への医療、国際救援活動が描かれています。

